「平和と人権」市民ネットワーク情報 No.22-2(通算 81 号)
事務局発行(TEL 0557-45-1182) http://peaceito.moo.jp 2022.2/1

22 総会&キックオフ集会に 32 名

◆1 月 16 日ひぐらし会館で二年ぶりに「ネットワーク」と「アクション」の総会を開きました。コロナ感染の中、どれだけの人が来てくれるか‥不安。ところが、開会時間が近づくと次から次へと来場者。慌てて座席を用意し、受付袋を手配するもなお足りない。これまでで最多の 32 名の方が参加されました。資料をお渡しできなかった方、ゴメンナサイ。総会に先立って、渡辺治氏の講演視聴会を設けたことが人を集めた理由かもしれません。渡辺講演の終わりの部分を要約して紹介します。

総選挙後の改憲の動き

憲法審査会で維新・国民民主が与党側の幹事となる。
自民党の改憲推進本部を改憲実現本部と名称変更。

〈岸田政権の戦略〉

・国家安全保障戦略と防衛計画の大綱の改定を目指す。
・22 年度予算に敵基地攻撃装備を盛り込む
・辺野古と南西諸島の基地建設を進める。
・憲法審査会で改憲論議を加速する。

反対運動の課題

草の根の市民運動の重要性が高まる。
①国民投票改正法付則―CM 規制など―の実現を要求し手続き面で抵抗する。
②改憲案の危険性を広く訴える。⇒**新署名の取り組み**⇒中国脅威論を粘り強く説得する。
③**創意・工夫をこらした市民の取り組み・運動**が必要。

休憩時間に自作曲を歌う中川さん

◆50 分間の講演を視聴した後で、若干の質疑の時間を取りました。U さんから、「共産党」の名前を変更したらどうかという意見が出されました。「共産党」の掲げる政策や支える人たちの活動は良いけど、一般に広がらない。中国共産党のイメージもあり、「共産党」の名前に抵抗感がある人が多い。名前を変えて運動をもっと広げた方が良い、という趣旨です。M さんは、低投票率で当選した人たちが、憲法改正を叫ぶことに違和感がある、改憲によって私たちの生活がどう変わるか、ということを学習し訴えていきたい、と言われました。休憩を挟んで総会に移りました。『アクション』代表の斉藤昭夫さんの挨拶に続いて、事務局から今後の改憲反対行動の提起があり、活発な意見交換が行われました。会計報告は５ページに掲載しています。

～事務局から～

行動の呼びかけ

署名活動

① 戸別訪問による一斉署名活動は当面控える。→ご近所、親戚など、顔を見知った人の家は OK。

② 戸外での署名活動を重点にする。

ⅰ）人の集まる所で、個人または有志が、日時を決めず自由に行う。

ⅱ）市の中心地で、アクションとして、街頭宣伝の一環として行う。

③ 市民との対話を心がけ、ポケットティッシュ等を活用し参議院選につなげる。

街頭宣伝活動

① 参議院選まで、日時を決め、定期的に行う。

→**毎月 6 日**、湯ノ花通りで原水禁の署名活動と合同で行う。

→**毎月 29 日**、地域の人の往来のあるところで行う。

② 当面の行動日程

・2 月 6 日(月) 14:00~　湯ノ花通り

・2 月 21 日(月)10:30~伊豆高原ナガヤ前

・3 月 6 日(月) 14:00~　湯ノ花通り

・3 月 29 日(火) 14:00～伊豆高原桜並木通り

・4 月 6 日(水) 14:00~　湯ノ花通り

③ スピーチとビラ・ティシュ配りと署名取りを一体でおこなうが、場所に応じて形態を工夫する。

④ 人数よりも継続することを主眼にする。時間は 30 分～45 分程度

集約

個人署名も団体署名も、結果をすべて梶野さんに報告する。(℡37-9134)

意見のやり取り

〈意見 1〉取った署名はどう処理されるのか

A さん

3000 万署名の結果はどうなったのでしょう。どこに行ってどう扱われたのでしょうか。

B さん

総がかり行動実行委員会から紹介議員に請願をして国会に届けられている。ただ、数字と物が合わなくて正確な数がわからなかった。その教訓を踏まえて新署名に取り組んでいる。署名がどのように生かされているかを知らせることは重要なので、ニュースで伝えていきたい。

A さん

この地域から選ばれている議員に渡すとか、可視化していかないといけない。

〈意見 2〉 地位協定を学習することが必要

C さん

コロナ感染が沖縄で広島・山口で広まっている。なのに、地位協定を変える気はない、と言っている。こういう問題に声をあげることが大事。共感をひろげるチャンス。日米地位協定もしっかり学習していく必要があると思っています。

D さん

一昨年、安保 60 年だったので地位協定の学習会をしました。明後日のスタンディングでも話をしたいと思っています。

B さん

市職の人とお弁当を食べながら、沖縄の感染拡大は地位協定で検疫が免除されているからだ

と話しをすると、驚いた顔をする。身近なことから憲法を語り署名をお願いしていくのが大事。

E さん

地位協定と言っても、一般の人にはピンとこない。僕はネットで地位協定=治外法権と言っている。

無条件降伏したから米軍は治外法権だ、と。若い人からリアクションあります。治外法権ということをはっきり訴えれば皆さんの意識も変わってくる。

〈意見 3〉若い人とどうつながるか

C さん

今たまたま演劇の世界で、1970 年の沖縄のコザ事件を松山ケンイチが主演してやっている。お金があれば若い人と見に行きたい。何かを教えるのではなくて、何があったかを知ってほしい。戦争経験をしてくれる人の話を聞きに行って、僕の知らない戦争の話ってたくさんあると思った。僕がつながっている子どもたちにその話を聞かせたいと思っています。

〈意見 4〉中国脅威論にどう答えるか

F さん

憲法に自衛隊を書き込むことがどういうことか、わかってもらうのがなかなか難しい。「自衛隊って良いでしょう、助けてくれる」というのがある。自衛隊を書き込むと、アメリカの要請で自衛隊が海外に出て行って、こちらから戦争をしかけていくというのを多くの人が知らない。憲法を生かす平和外交というけど、どうやって中国や北朝鮮と平和的にやっていくか。私自身も勉強して確信を持って人に言えるようにしたい。

G さん

9 条を守ろうと言ったときに、帰ってくる答えが、ほとんどの人は、「じゃー中国や北朝鮮から攻められたらどうするのだ」と言われる。どうやって返すか。もう一つ、日本の 9 条を見習ってコスタリカという国が軍隊をなくし、外交で解決し、世界の国で一番幸せな国になった、と言われる。9 条が大事だと訴えていきたい。

D さん

アメリカのミサイルが日本にあったとしても、日本人は脅威とは思わない。兵器の威力と攻撃する意志が掛け合わさって攻撃の危険があるかどうかが決まる。中国や北が怖いというけど、果たして中国や北が日本を攻撃する意志があるのか。もし中国が攻撃するとしたら、それは日本がアメリカと一緒になって台湾への中国の侵攻を阻止するため中国を攻撃したとき。「2＋2」でいうように、台湾有事に備え長射程のミサイルを備えて台湾有事に自衛隊が関わるようになったら、それこそ中国からの攻撃が現実化する。日本が攻撃しない限り攻めてくる理由はない。そこを伝えていく。

〈意見 5〉対話を広げる

H さん

3000 万署名で地域をまわったとき、だいたいの人は、「いきなり喧嘩にはならない、通信手段があるし外交で意思疎通をすれば、原爆を落とすようなことはない」と言えば理解してくれる。話し合いをする場があれば署名がもらえる。地位協定とか説明を広げていくのも大事。署名をもらうとき、この署名はどうなるのかということを話さないと相手も納得しない。私は、「国会に持って行って皆さんの力を示す運動をしている」と話している。

〈意見 6〉事実を示すことが大事

I さん

北朝鮮が攻めてくると言いますが、本当に攻めてくると思っていたら日本海側にあんなに原発をつくりますか。再稼働しますか。北朝鮮には兵隊を輸送する上陸用の舟艇、上陸艦がない

のです、一隻も。だから送りようがない、物理的に。事実で示してあげればいい。何が危ないかと言ったら、台湾の場合なら飛行機です。両方の軍用機の偶発的な。海なら海上保安庁だから公船同士の接触です。空はいきなりお互いの軍用機がくる。海ならお互いに通信ができる。空は秒しかない。個々のパイロットが判断してやるしかない。心配なのは偶発的なことです。それをなくすにはどうするか。外交しかない。危険な状態は外交で直すしかない。

H さん

原爆とかミサイルをボーンとやってしまったら一発で終わり。外交を重視しないと、一発で終わる。

A さん

I 先生が言われたようなこと、素朴な疑問を人に話せるような、そんな学習会をしていただけたらいい。今の話は分かりやすかった。自分が納得して人に伝えられるようになりたいです。

〈意見 7〉東アジア共同体の構想

D さん

森嶋道夫という経済学者は、EC の東アジア版を作れ、と言っていました。体制が違うから EC のようなものを作るのは無理だというけど、ASEAN なんか体制が違う国が作っている。将来的なことだけど、中国や北朝鮮を含めた東アジア共同体をめざす。安全保障では、集団的自衛権ではなく集団安全保障を一つの可能性として構想すべきではないか。

〈意見 8〉ポスティング活動も

H さん

お金かかるかわからないけど、前にポストインをやったでしょ。ああいうことをやっていくのも必要だと思う。

D さん

戸別の署名はともかく、ポスティングはできますよね。自分たちでパンフを作るのは大変だけれども、署名だけでなくポスティングもやりたい。

〈意見 9〉学習が必要

F さん

憲法問題に関心がない人に、9 条を変えるとどうなるか、平和外交をしていくために私たちがどういうことを話していけばいいのか、一人一人が深めていかないといけない。アメリカ、中国、ロシア、日本も軍需産業をやっているわけでしょ。戦争をすることでどれだけ大企業が儲かるか。その大企業から献金をもらっている事実。今の憲法が良いと思っている人が多いと思う。他方で、なぜいま自衛隊を書くか、ということの浸透が弱い。

〈意見 10〉　実践から学ぶ

D さん

署名のときこんな反論されたらどう答えたらいいかマニュアルが欲しい、学習会があるといい、ということですが、できないわけではない。だけど、実際に人と会って、話をしてみることが大事。そのなかで、こう聞かれたらこう答えよう、ということを自分で学習していく。

司会

ありがとうございました。具体的な提案や悩みを含めて、交流が出来たのではないかと思います。

(以上)

ご協力ありがとうございました

１月１６日は沖縄の名護市長選の告示日でした。総会会場でオール沖縄から出馬した岸本洋平候補への支援カンパを呼び掛けました。寄せられた金額はおよそ２万５千円。会場費などの経費を差引いて１万６千円余りを岸本候補の選対に送りました。選挙は残念な結果になりましたが、辺野古基地建設阻止の大義は揺るぎません。

市民ネットワーク2021年収支報告 (2021.1.1～12.31)

(A)

収入の部	
項　目	金　額
繰越金	27,372
カンパ・現金	37,005
イベント収益金	12,491
合　計	76,868

切手カンパ　84円×20枚、94円×30枚
うち使用分　94円×30枚と60円×26枚

(B)

支出の部	
項　目	金　額
通信郵送代	25,972
文具(用紙、封筒、など)	2,297
学習会、講師謝礼	3,000
支援カンパ	5,000
DVD購入	2,200
合　計	38,469

繰越残高　38,399

市民アクション2021年収支報告 (2021.1.1～12.31)

(A)

収入の部	
項　目	金　額
前年度繰越金	24,547
ｲﾍﾞﾝﾄ剰余金・会場ｶﾝﾊﾟ	12,492
個人カンパ	20,000
合　計	57,039

(B)

支出の部	
項　目	金　額
会場代、リーフ代、謝礼など	13,378
通信郵送代など	26,731
印刷代(用紙、封筒代含む)	5,664
合　計	45,773

繰越残高　11,266

「新署名」で 2022 年スタート！

早くも事務局に署名が届き始めました

通信１月号（80 号）とともに、「ネットワーク」と「アクション」の皆さんに「憲法改悪を許さない全国署名」を郵送しました。これまでメールで送信してきた方からも、返信用封筒に切手を貼っていただいてさっそく署名が届いています。1 月 28 日現在で **10 通 34 筆**。そのなかに、こんな便り添えられていました。

「父は 2020 年 7 月に他界いたしました。ご連絡が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。今回は、**強い信念を持っていた父に代わりまして**、私と娘の二名で署名させていただきました。」

（新婦人しんぶん 1/29 号）

お父さんの意志が子から孫へと受け継がれていくことが伝わってくる感動的な手紙でした。

まだまだ始まったばかりのこの活動、お互いに知恵を絞って交流しながら署名を広げに広げて改憲の流れを断ち切りましょう。1 筆でも 2 筆でも結構です、伊藤廣光さん宛に返信用封筒で送ってください。

今年最初の 19 日行動

観光会館前は先月と違い風はなかったものの、しぐれ模様の底冷えのする天気でした。防寒着をまとって 20 人ほどの人が集まりました。斉藤昭夫さんが進行をしました。最初に昭夫さんが、最近の国会における改憲の動きを「国民の要求に基づくものではない」と批判し、合わせて岸田政権の核兵器禁止条約に向き合おうとしない姿勢に抗議しました。続いて平和委員会の伊藤さんが今年にかける思いを訴えました。1 月 7 日の日米両国の外務・防衛担当閣僚会合で（「2+2」）で、日本側が「防衛力を抜本的に強化する決意」を表明し、軍事費のさらなる増加を誓約したことを強く非難しました。そして、改憲とともに軍拡路線に反対していく決意を力強く語りました。新婦人の会の大川好子さんも、改憲動向にふれ「新婦人の会」が創立以来一貫して平和憲法擁護のために活動してきた、とスピーチしました。続いて市民アクションからの発言ということで、三好がコロナ感染第 6 波が米軍基地を発生源としながら、安保条約に基づいて結ばれた地位協定によって、日本は基地の閉鎖はもちろん、米兵の外出禁止も入出国の際のコロナ検診さえも要求できない、基地と米兵には国内法が免除され治外法権を認めていると批判しました。最後に

宮崎美和子さんの音頭で「軍事費を削って命を守れ、軍事費を削ってコロナ対策にまわせ!」とコールしてスタンディングを終えました。

（文責　三好康昭）

スタンディングに参加して　松本元延

大寒前日の今年最初の１９日スタンディング行動。折からの寒さで靴下を２枚履いて参加。

今から４０年前の１１月。私は労働組合に加入したばかりで強制的に動員に連れていかれました(笑)。御殿場市、小山町、裾野市にまたがる陸上自衛隊の演習場「東富士演習場」にです。シュプレヒコールしながら基地の周りを歩いていました。「かったりい～」「もう帰ろうじゃん」と恨み節ばかり。

目の前の薄野原には赤いヘルメットの連中が何か叫んでいました。どこかの組合員が整然と立っている機動隊の盾にけりをいれました。一瞬にして、その組合員は盾の中に引きずり込まれボコボコにされました。「こえ～…」、国家権力の恐怖を感じた瞬間でした。

未曾有の新型コロナウイルス感染症、第６波が自分たちのすぐ近くにまで来ています。身近な人に感染者が出ると「いつか自分も、と」

有権者の４０％の投票率で当選した一部の政治家と死の商人たちは「改憲」を急いでいます。戦後、７０数年も不変の憲法。素晴らしいじゃありませんか。スイスと並んで、戦後、日本は「戦争」をしていません。誇れることです。

今、日本がやるべきことは何ですか？

行　動　予　定

(1)街頭署名　※コロナの状況によって中止もあります

・２月　６日(日)14:00～湯ノ花通り

・２月２１日(月)10:30～伊豆高原ナガヤ前

(2)スタンディング

２月１９日(土)14:00～観光会館前

(3)「市民病院の今と明日を考える会」

３月１４日(月)10:00～展望ギャラリー